世界の言語
-World Languages-

このコーナーでは、毎月、世界の様々な言語を紹介していきます。

テーマ：状況に応じたフレーズ②（英語）

「I'd like to ～でスマートに表現しよう!」

今回は、先月に続きレストランや買い物先で使える簡単なフレーズをご紹介します。
「I'd like to ～（～したいのですが）」を使うことで、スムーズに希望を伝えられます!

● I´d like to order this, please.（アイド ライク トゥ オーダー ディス プリーズ）
意味：これを注文したいのですが。

● I´d like to pay by card, please.（アイド ライク トゥ ペイ バイ カード プリーズ）
意味：カードで支払いたいのですが。

I'd は I would の略です。

例）I want to change my seat.
意味：席を変えたい
↓
I'd like to change my seat, please.
意味：席を変えたのですが

「I want to」を「I'd like to」に変えてワンランク上の表現で、スマートにコミュニケーションを取ってみましょう!

町民文芸

●由岐句会

春暁や寝ぼけ気味なる顔洗う　（青山文夫）
飛ぶように過ぎる月日や地虫出づ　（森淨子）
春泥を飛びそこねたる下枝の子　（片山宇野代）
身ひとつ気ままに生きて耕せり　（中川秀司）
聞き流す事も世渡り鳥雲に　（住谷喜舟）
黒潮の海を眼下に山笑ふ　（戎谷久代）
涅槃（ねはん）雪受けて出船の舵を取る　（戎谷利公）
夢の中溶けては消えし春の雪　（四宮朋和）
田植機の音こきざみに目借時　（下町昭）
ひかえ目に手慣れし塩や鰆焼く　（森本富美子）

●投稿川柳

冷え性でコタツよ君といつまでも　（三間精司）／　チョコもなしお返しもないホワイトデー（三間精司）

●日和佐短歌会

玄関に友よりと知る蕗の薹春が来たよと言う去年の声　（本庄たゑ子）
浜太郎ボクハイツデモゲンキデス！水底のうた亀の言霊　（四宮朋和）
静寂の窓を開ければ雪景色アダモが歌う恋偲べり　（石川美智惠）
直木賞受けて話題の海亀にまつわる作に心そそらる　（福井郁子）
この世をば我世とぞ思うトランプのやる事なす事世界の迷惑　（吉坂忠幸）

●投稿短歌

金婚式を終えても巡る朝々に嫁ぎし家の仏飯を盛る　（下町昭）

●日和佐句会

めっきりと口数減りて卒業す　（白河輝女）
金泥のひかりの帯や春夕焼　（橋本まり子）
グラウンドの砂塵巻きあぐ春一番　（福井咲希）
黄砂吹き洗濯物をはたく日や　（森公子）
門前に農家の出店初薬師　（本庄潮乃）

●時雨庵俳句

おもしろや椿祭りの輪に入りて　（名田みや女）
ご法話やおぼろ月夜の畦伝い　（勝瑞屋千春）
観梅や乳臭き児の笑顔かな　（勝瑞屋小春）
干し柿や先ず指先で味を聞く　（勝瑞屋高春）

※町民文芸に掲載をご希望の方は、前月の 20 日までに政策推進課までお送りください。

28 _ 美波の文化・歴史を訪ねる

【お問い合わせ】日和佐公民館☎ 0884-77-0028
由岐公民館☎ 0884-78-0007

美波町の各所に残る文化財や史跡を写真とともに紹介していきます。

東北・三陸の海へも進出した美波の漁師

明治35年（1902）、志和岐の楠本勇吉は当時大阪船といわれた帆船（櫓漕ぎ船）で、親子2人で一本釣りを試みつつ、岩手県三陸沿岸へ漁場視察に行った。そこで大船渡の漁師と出会ったが、その漁師は楠本親子の一本釣り漁法が画期的であるのに驚き大船渡に招かれた。楠本はそこを根拠地として一本釣りを操業しつつ、数多くの地元の漁師たちにテンテン釣りと呼ばれるこの漁法を指導した。さらに楠本はこの海域が漁場として有望であるのに気付き、翌36年（1903）には漁船2隻を神戸から取寄せ、多数の船員を雇って操業した。日露戦争のため一旦志和岐に帰ったが、同38年（1905）には再度出漁、大正初めまで続けた。楠本勇吉の人柄や技術、さらに地元漁師への指導の功績は大きく認められ、明治44年（1911）には気仙郡長から感謝状が贈られ、さらに大正6年（1917）には大船渡港を見渡す丘の上に立派な功労記念碑が建てられた。また昭和46年（1971）には、大船渡市の小学校社会科副読本に「楠本勇吉と大船渡の漁業」として大きくその功績が紹介されています。

※写真は志和岐漁港の様子です

HIWASA Library News
2025.Apr. No.229

●新刊図書案内

猫の刻参り
著 宮部 みゆき（新潮社）

江戸は三島屋の次男坊富次郎は、変わり百物語の二代目聞き手。数奇な身の上話を聞き捨て、一話ごとに墨絵にしている。一方、兄・伊一郎の縁談を巡って、三島屋は大騒動に巻き込まれてしまう…。

●おすすめ図書

にぎやかな過疎をつくる 農村再生の政策構想
著 小田切徳美（農山漁村文化協会）

過疎地域にもかかわらず、にぎやかな農山漁村をつくるには。コロナ後の社会と2025年基本計画以降の展開を見据え、農村の過去から現在、そして未来への展望まで総合的に見通す。「農村政策の変貌」の続編。

●図書資料館イベント

イベント	日程	時間
おはなしの時間	4/19（土）	10:30～11:00
喜寿4人展	4/6（日）～4/23（水）	

新刊一般図書

- ●C線上のアリア：湊 かなえ
- ●ブレイクショットの軌跡：逢坂 冬馬
- ●受け手のいない祈り：朝比奈 秋
- ●亡霊の烏：阿部 智里
- ●そういえば最近：寺地 はるな
- ●世界99　上・下：村田 沙耶香
- ●オール電化・雨月物語：青柳 碧人
- ●片腕の刑事：竹中 篤通

新刊児童書

- ●ジャジャーン!：いわい まき
- ●おもちのおふろ：苅田 澄子
- ●おはしをじょうずにもてるかな：深見 春夫
- ●ノラネコぐんだんピザをやく：工藤 ノリコ
- ●ようかいむらのめでたししちごさん：たかい よしかず

美波町読書友の会、会員募集中です。
詳しくは図書館までお問い合わせください。

● 4 月の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19 ★
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

● 5 月の予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17 ★
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

● 休館日（毎週月曜日（祝日に当たるときは翌日も）、祝日、年末年始）　♥ イベント　★ おはなし会

美波町日和佐図書・資料館☎ 0884-77-2733
開館時間：火曜日～金曜日 10:00 ～ 18:00　土曜日・日曜日 10:00 ～ 17:00